

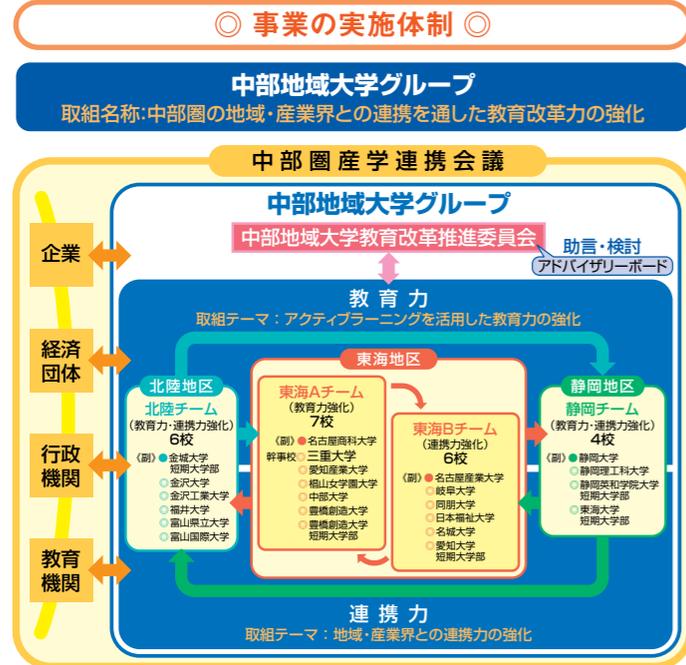
文部科学省等支援プログラム

平成24～26年度

産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業

「中部圏の地域・産業界との連携を通じた教育改革力の強化」

中部圏の国公私立23大学は、文部科学省補助金事業として、産業界のニーズに対応した人材育成を目指す取組を申請し、採択されました。本取組は、①「アクティブラーニングを活用した教育力の強化」、②「地域・産業界との連携力の強化」という二つのテーマを掲げて、23大学が連携しつつ、企業、経済団体、行政機関、教育機関と対話を行い、教育改革をともに進めていくユニークな試みです。三重大学は、統一プログラムによる初年次教育やPBLの全学的推進などの教育改革の実績が認められ、幹事校として本取組を推進することになりました。



独立行政法人 科学技術振興機構 (JST)

平成24～27年度

理数系教員(コア・サイエンス・ティーチャー)養成拠点構築プログラム

「CST (コア・サイエンス・ティーチャー) 養成による理科授業支援体制の構築」

小・中学校教員の理科教育における指導力向上を図ることを目的として、大学と教育委員会が連携し、養成プログラムの開発・実施や地域の理科教育における拠点の構築・活用などを通じて、地域の理科教育において中核的な役割を担う教員(コア・サイエンス・ティーチャー)を養成するものです。

CST(コア・サイエンス・ティーチャー)は、小中学生の理科への学習意欲・能力を喚起するため、優れた理科指導法を修得し、実践する教員です。また、理科教育支援拠点も活用し、研修会や教材開発で中心的な役割を果たすことにより、地域の理科教育の質を向上させます。

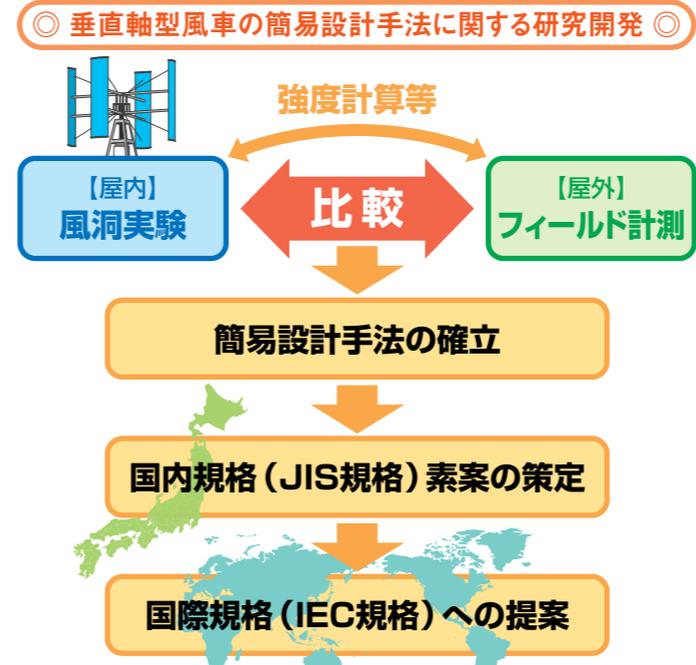


独立行政法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO)

平成20～24年度

次世代風力発電技術研究開発 「垂直軸型風車の簡易設計手法に関する研究開発」

主たる目的は、日本の風力発電設備の故障率を下げ、効率化を図ることにより、利用率を上げることです。本事業は「複雑地形CFDシミュレーション及び風洞実験技術の高度化」、「複雑地形風特性モデルの開発・検証」、「リモートセンシング技術の応用研究」、「小形風車の技術的評価手法の実証・開発」からなり、そのなかの「垂直軸型風車の簡易設計手法に関する研究開発」は、風洞実験とフィールド計測とを比較して強度計算等を行い、垂直軸型風車の簡易設計に関するJIS規格素案の策定をするものであり、将来的には国際規格(IEC規格)への提案までも見据えたものです。

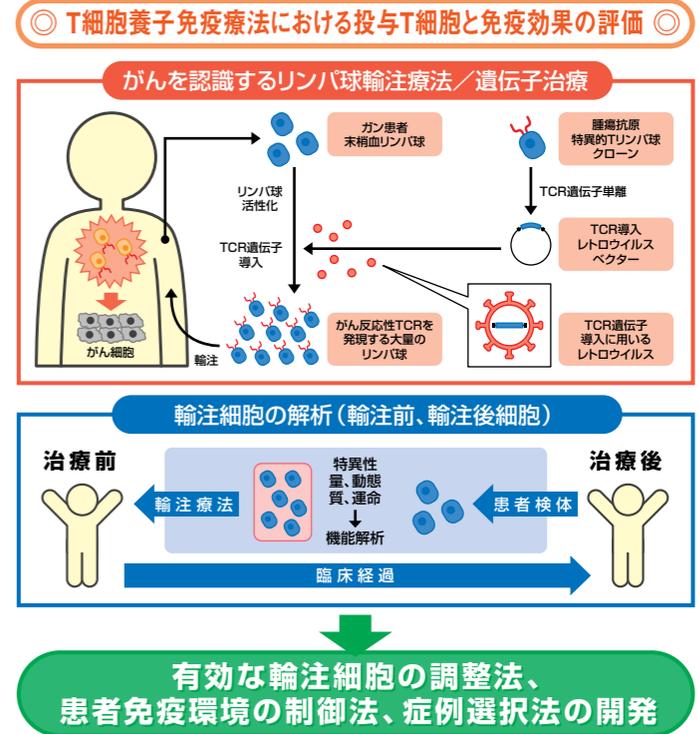


平成23～27年度

次世代がん研究戦略推進プロジェクト 次世代がん研究シーズ戦略的育成プログラム

「T細胞養子免疫療法における投与T細胞と免疫効果の評価による治療戦略の構築」

三重大学ではかねてより、がん患者に対するT細胞輸注治療法やがんワクチン療法による臨床試験に取り組んでいます。今回は、臨床検体(患者の血液やがん組織など)を用いた様々な解析を行うことにより、免疫療法の効果を予測するバイオマーカーを見つけ出すことを目的としています。これにより、免疫療法に対する良い効果が予測される患者をあらかじめ選び出して治療することや、現在の治療法をより効果的なものにするを目指しています。



有効な輸注細胞の調整法、患者免疫環境の制御法、症例選択法の開発